

佐原地区にグラウンド  
ゴルフの練習場を

**Q** 高齢者がスポーツに親しみ推進する意義をどう捉えているか。

**A** 高齢者が体力、目的に応じてスポーツに親しむことは、明るく元気に生き生きとした生活を送る上で、極めて大きな意義を持っているものと捉えています。

**Q** 佐原地区のグラウンドゴルフの練習場が無いと相談があったが、統廃合された小・中学校の跡地を活用できないか。

**A** 旧佐原第二中学校と旧湖東小学校の運動場を利用し、グラウンドゴルフを行っている団体があります。今後、廃校となる小・中学校についても、周辺住民の意向を伺いながら、有効活用を検討していきます。

子育て中の保護者ニーズに  
あった公園遊具を

**Q** 公園に遊具を設置する意義について、どのように捉えているのか。

香取市独自の  
再生土規制条例の制定を

**Q** 10月県議会へ提案される県再生土条例は、「届け出制ではなく許可制にすること」「住民同意を義務付けること」などの要望が反映されていない。住民の懸念が払拭されない内容だが、見解は。

**A** 市条例を改正した平成30年5月1日以降、規定する3千㎡未満の埋め立て申請はありません。現在、適用外の3千㎡以上の埋め立て箇所は5カ所、問題が発生しないよう、県との連携を踏まえ定期的な監視または指導等を行っています。県条例案は、次の県議会へ上程するとの新聞報道がありました。規制の詳細、内容が明らかになった段階で、他市町の対応も含めて総合的に検討し判断していきます。

**Q** 大角の市道破損補修工事の進捗状況は。費用負担について、道路破損原因者、再生土処分業者との話し合いの交渉経過は。

**A** 特に道路状況の悪い箇所、約900㎡の工事を平成29年度に市が行いました。平成30年度発注済みの工事は、約35



たしろ かずお  
田代 一男 議員

**A** 子どもたちに健全な遊び場を与え、健康増進や情操を豊かにするためには大変有意義なものであると考えます。

**Q** 老朽化した遊具の更新および撤去された遊具の新たな設置の見解は。

**A** 地域の子どもの数や利用頻度、地元の要望等を考慮し、計画的に遊具の設置や修繕を実施していきます。



放置された老朽化著しい遊具



う い しょういち  
宇井 正一 議員

0分、9月中の完成予定です。残り約600㎡も、平成30年度中の工事実施を考慮しています。現在も業者との協議は、継続しており、理解を得るのは大変困難な状況ですが、引き続き粘り強く交渉していきます。



破損が著しい大角の市道

食品ロスをはじめ  
ごみ減量の啓発を

**Q** 食品ロス削減を推進する意義について、どのように捉えているか。

**A** 可燃ごみ減量目標を達成するためにも重要な取り組みですので、積極的な啓発に努めます。

**Q** 宴会の食べ残しを減らすための取り組みである「3010運動※」を広めることが食品ロス削減に有効だと考えるが、見解は。

**A** 食品ロスの削減、ごみの発生抑制に有効な運動の一つと認識しています。さらに、「3010運動」の市民への周知、浸透を図っていくため、広報紙や食品衛生組合などを通じて広め、ごみの減量化や食品ロスの削減に向け、市民と連携しながら取り組んでいきます。

※3010(さんまるいちまる)運動  
食品ロス削減のため、宴会時は、初め30分と終わり10分は食事を楽しみましょうという運動。



府馬県道沿線住民の  
騒音・振動対策を

**Q** 県道28号旭小見川線、府馬入小保内地域の沿線住民は、早朝を中心に、ダンプなどの重量車輛の通行で、騒音・振動に毎日悩まされている。県に対して対策の要望を。

**A** 県香取土木事務所に確認したところ、舗装の現況調査を行ったと聞いています。この区間は、施工条件が厳しい箇所であることから、修繕工事を行うには関係機関と十分に調整の上、工事による通行の安全が確保できるような方法を検討するとの回答でした。市では、地元区長と相談しながら、対応を検討していきます。

農家の免税軽油利用のための  
申請の簡素化を

**Q** 農家に有利な免税軽油の制度の申請手続き簡素化を県へ働きかけるべき。

**A** 免税軽油の利用は小規模農家の場合、各種報告等が必要な割には免税金額が少ないことから、市内では利用者が少ない状況です。このため、関係部署や機関と連携し、免税軽油の制度の周知を図っていきます。